



新小山市市民病院ニュースレター

Shin-  yama City Hospital News letter

Vol.43

1 副院長挨拶 ～～

新小山市市民病院では医師の働き方改革の準備に数年前から着手し、労働基準監督署に提出した当院の3ヶ月の当直実態が、法律の定める労働時間などをクリアしたため、2023年1月に正式に当直継続が認められ、現在の救急体制を保つことが可能になりました。常勤医師数は70名を超えますが、働き方改革の求める基準はハードルが高く、各科ではギリギリのシフトを組んで工夫して労働時間を調整しております。以前のように「もう少し頑張っちゃえばなんとかなるよね」をしてはいけない時代になり、昭和生まれ世代の「24時間働けますか」のフレーズで有名なコマーシャルが、なんの違和感もなく受け入れられた頃とは隔世の感があります。当院にも昨年度より初期臨床研修医を迎えることができ、今後の医療を担う若人には世界標準の労働環境、労働時間やレベルの高い研修プログラムを提供することが、研修病院の使命と考えております。しかし全国的には今でも「病院に住んでいる」と思われるくらいに夜通し救急外来に張り付いて症例を経験する、手術になるべく多く入る、専門医試験に必須の症例報告や、学会準備、論文作成などは自己研鑽の名の下に、多くの大学、基幹病院で過重労働が当たり前に行われていると推察します。有望な若い医師による自死のニュースが出るたびに、「良い医師、立派な医師、優れた医師、専門医」になるために払う自己犠牲とはなんなのか、医療人にも医療人以外にも課題として突きつけられています。



働き方改革でできた「自由な」時間は、仕事を離れて趣味や家族との時間に当てたいのですが、私の世代になると子供たちは親元を離れてしまって、今更一緒にいる時間を巻き戻せる訳もなく後悔仕切りですが、せめて趣味の時間を老後に向けても充実させたい。私の趣味はおおよそ10年前から登山です。百名山ハンターではありませんが、65座は登りました。

北海道、九州、四国、中国地方などの山々は今後も登れるか分かりませんが、好きな山は何度でも登りたい。特に東北の山々（飯豊連峰、朝日連峰、吾妻連峰、鳥海山）は北アルプスの荒々しい表情と異なり、懐深さ、優しさを感じます。東北人の人柄もまた素晴らしいので（栃木県で生まれ育った私も南東北人）、山の景色はもちろんのこと、彼らと話した一言一言が忘れられない。冬は雪山、バックカントリースキーの季節がやってきます。10年前、小山山岳会という山登りの「いろは」を教えてもらった会に入会するまでは想像できなかった、スキーを担いでではなく「履いて」山に登り、滑って下りるという行為が、待ち遠しい季節です。ああ早く会津駒ヶ岳のピークに立って尾瀬や日光の山々を眺めながら、「さあ行こうか」と誰も滑っていない山肌にシュプールを描きたいなあ。白馬岳から清水岳方面へのパウダー、たまらないなあ。。と思う今日この頃です。



↑ 右手前が私です

令和 5年 12月 副院長／脳神経外科部長／患者支援センター長 **宮脇 貴裕**



目次:

| | |
|----------------|---|
| 副院長挨拶 | 1 |
| 新任医師紹介 | 2 |
| データから見る診療実績... | 3 |
| 連携協議会報告 | 5 |
| お知らせ | 6 |

ハイライト

- 10月に入職された先生をご紹介させていただきます。
- 当院の取り組みを紹介いたします
- 疾患別の診療実績を、手持ちデータから割り出してご報告させていただきます。
- 令和5年度の連携協議会の報告をさせていただきます。
- ポットラック、医療・連携の会奮ってご参加ください。

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。

TOPICS

～ 令和6年度初期臨床研修医採用速報！ ～

当院は、令和6年度の初期臨床研修医の採用枠が2名から4名へと拡大され、今年度採用活動を進めており、去る10月26日（木）に、マッチングの結果が公表されました。

結果は3名がマッチということで、1名分の枠が埋まらなかったため、直ぐに残り1名分の二次募集を開始したところ、応募が5名（のち辞退者2名）あり、11月13日（月）に試験を実施、その結果1名が合格し、令和6年度の4名枠が決定いたしました。一次マッチングで枠が埋まらずに不安もありましたが、なんとか枠も埋まり安堵したところで、現在、採用に向けて仮契約を進めております。あとは国家試験を通れば、当院初期臨床研修医として正式採用となります。在職の研修医同様、地域の先生方にもお世話になることも多々あるかと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

ドクターの紹介

新たに1名の医師が入職しました。



耳鼻咽喉科
医員
新井 志帆

令和5年10月より新小山市市民病院耳鼻咽喉科に赴任いたしました 新井 志帆（あらいしほ）と申します。栃木県出身で新潟大学を卒業し、自治医科大学附属病院で初期研修後、同大学耳鼻咽喉科に入局しました。これまで大学病院では耳鼻咽喉科の一般診療を中心に携わってきました。

今回が初めての市中病院での勤務になります。至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、小山地区の皆様により良い医療を提供できるよう尽力してまいります。何卒よろしくお願いいたします。

肝炎へのとりくみ

当院では肝炎対策基本指針に則り肝硬変・肝がんへの移行者を減らす目的のため、院内で「肝炎拾い上げワーキンググループ」を起ち上げました。

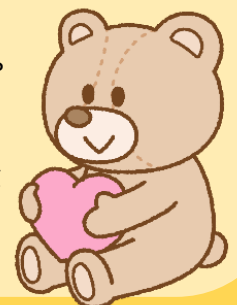
肝炎ウイルスに感染しているにも関わらず告知がされていない方、未治療と思われる患者を抽出し、適切な治療を推奨していく目的で結成されたチームです。

このワーキンググループは日本肝臓学会専門医、医療安全管理者、栃木県の肝疾患コーディネーターの認定を受けた看護師・薬剤師・臨床検査技師で構成されています。コーディネーターは「受検」、「受診」、「受療」、「フォローアップ」が円滑に行われるようにすること、適切な肝炎医療や支援を受けられるように関係機関への橋渡しをする役割を担っています。

実際の業務は、臨床検査科が肝炎ウイルス陽性者のうち、当院で治療を行っていない患者をリストアップします。医師が治療を必要とする患者を篩い分け、患者支援センターから患者本人へ連絡を行い、肝臓専門外来受診を促します。当院以外を希望した患者に対しては、近隣医療機関への紹介も行っています。

今後は地域医療機関とも連携し、多職種による専門的なアプローチで適切な治療やフォローアップが行えるように取り組んでいきたいと考えています。

多くの患者を救済し、より良い生活を送れるよう、また、肝炎への理解が進むことを願います。



令和5年度小山市近郊地域医療連携協議会 研修会

9月12日(火)、小山市近郊地域医療連携協議会「研修会」を行いました。

この協議会は「小山市近郊地域における救急医療体制の整備や完結する医療提供体制の充実等を図ることを目的」として小山市近郊の15病院で構成されています。

今回は、講師に今井 靖先生をお招きし、『最適な薬物・非薬物療法を社会・地域に届けるために - 薬剤部スタッフ・循環器内科医としての取り組み -』として循環器診療や自治医科大学附属病院薬剤部の取り組み、フォーミュラリーについて等、幅広い内容で講演頂きました。特にフォーミュラリーにおいては今後の地域医療を見据えた内容となっており、医療連携の重要性を改めて考える機会となりました。



**最適な薬物・非薬物療法を社会・地域に届けるために
- 薬剤部スタッフ・循環器内科医としての取り組み -**

日時 9月12日(火) 午後6時～午後7時15分

場所 新小山市民病院 2F さくらホール

講師 今井 靖 先生

自治医科大学 薬理学講座 臨床薬理学部門 教授

自治医科大学 内科学講座 循環器内科学部門

自治医科大学附属病院 副院長 薬剤部長

参加者 100名(会場73名、WEB27名)



令和5年度小山市近郊地域医療連携協議会 総会

10月31日(火) 小山市近郊地域医療連携協議会 総会を行いました。

総会では、議事の他に各部会報告と当院の近況を、また会員病院の近況を野木病院、リハビリテーション花の舎病院から報告していただきました。会員病院で新たに院長に就任されたリハビリテーション花の舎病院 吉田 行広 先生、南栃木病院 齊藤 力 先生にご挨拶もいただきました。

小山市近郊地域医療連携協議会では、令和2年以降、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、会員病院の様々な対応や感染防止対策等の情報共有を行ってきました。また、コロナ禍でZoomを利用した会議を始めた部会もあります。今後もより一層連携を深め、小山市近郊地域における医療提供体制の充実を図りたいと思います。

日時 10月31日(月) 午後6時30分～午後7時30分

場所 新小山市民病院 2F さくらホール

出席者 50名



近況報告



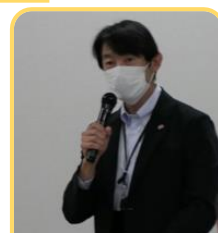
リハビリテーション花の舎病院
吉田 行広 院長先生



南栃木病院
齊藤 力 院長先生



野木病院
麦原 匡史
院長先生



当院 事務副部長
関 彰

患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・脳神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関する
こと・MSWに連絡・その他、外来患
者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。



地方独立行政法人
新小山市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

[https://www.facebook.com/shin.oya
ma.city.hospital](https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital)



独法化10周年を
記念して記念誌を
作成しました。
ぜひご覧ください。

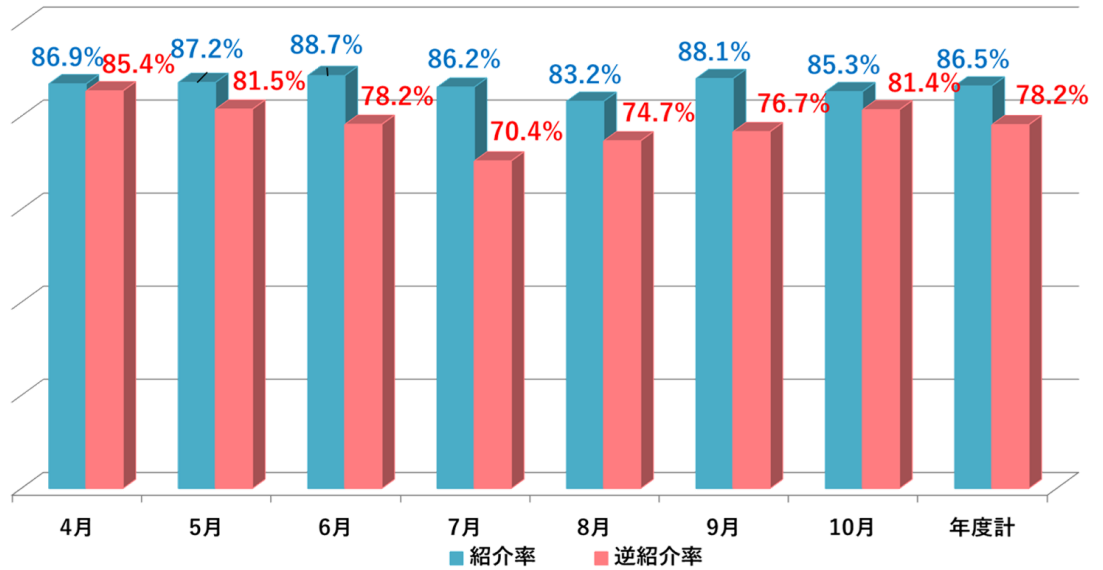
患者支援センターからのお知らせ



いつも当院運営にご理解、ご協力頂きありがとうございます。

4月~10月計は、前年比で紹介患者数892人増、紹介率9%増となりました。

令和5年度 紹介率・逆紹介率



第44・45回地域完結型医療・連携の会WEBライブセミナー

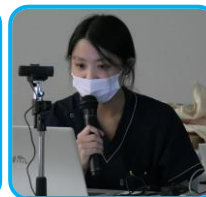
第44回、第45回の「地域完結型医療・連携の会」を行い、質疑応答では、活発なやり取りが行われました。

今後も皆様により満足いただけるセミナーになるよう努めてまいりますので、参加をお待ちしております。

- ・日時 9月21日(木) 19:15~
- ・場所 新小山市民病院
- ・座長 田野副院長
- ・症例報告者
 - 消化器内科 藤沼医師
 - 小児科 三木医師(研修医)
 - 高岩医師
 - 糖尿病・代謝内科 出口医師
- ・院外参加者 29名



- ・日時 11月16日(木) 19:15~
- ・場所 新小山市民病院
- ・座長 川上副院長
- ・症例報告者
 - 脳神経内科 石川医師
 - 腎臓内科 齋藤医師
 - 泌尿器科 茗荷医師
- ・院外参加者 25名



ポットラック
カンファレンス

偶数月、
第1火曜日 19:15
オンライン(Zoom)にて
開催しています。

12/5, 2/6

| | 日程 | 症例報告 |
|------|---------------|-----------------|
| 第46回 | 令和6年 1月18日(木) | 脳神経外科、外科、心臓血管外科 |
| 第47回 | 令和6年 3月21日(木) | 循環器内科、呼吸器内科、眼科 |